

## 「第7回インフラメンテナンス大賞」で優秀賞を受賞して

水利工学研究領域 流域管理グループグループ長補佐 白旗克志

この度は、第7回インフラメンテナンス大賞の技術開発部門において優秀賞を受賞することとなり、大変光栄に存じます。

受賞対象となりました「地下水位の潮汐応答分析による地下ダム止水機能監視技術の開発」は、地表水に乏しく水源を地下水に頼る地域に建設されて貴重な農業用水源として利用されている、地下ダムの機能評価技術に関するものです。

本技術の開発を企図した予察的研究は、2016年度から沖縄県糸満市の地下ダムにおける地下水位観測として開始しました。その結果により技術開発の可能性が示されたことから、現地観測とデータ分析方法の検討を続けながら2017年8月に特許を出願し、翌年7月には農研機構を権利者として[特許登録されました](#)（特許第6368014号）。その後イノベーション創出強化研究推進事業（資金配分機関：生物系特定産業技術研究支援センター）に採択された研究課題において開発技術の現地実証を進め、2022年度に農研機構の普及成果情報にまとめたものです。

予察的研究を開始した当初から今日まで、地元の地下ダム管理関係者をはじめ多くの皆さんから御協力と御指導をいただくことで本技術開発を進めることができました。心より感謝いたします。

国営等事業により沖縄・奄美の島嶼地域に建設された地下ダムは、地域の農業を飛躍的に発展させました。初期の大規模地下ダムの建設からおよそ30年が経過し、その管理のための技術の開発は、ますます重要になっています。地下ダムの管理に役立つ技術の開発と進化のための研究に、引き続き取り組んでいます。





授賞式の様子